

平成 26 年度薬局・薬剤師を活用した健康情報拠点推進事業

1 事業目的

高齢社会が進展する中で、地域の健康を支え、守るためには、地域住民が身近で気軽に専門的な支援や相談が受けられる環境を整備することが重要である。そのために、薬局・薬剤師を活用した健康情報拠点作りを推進して、総合的な健康支援機能を強化・促進し、地域における先駆的な取り組みを実施することにより、地域住民の健康増進等に寄与することを目的とする。

このため、本事業では、モデル薬局を選定し、自己検査機器を用いた健康チェックとアドバイスや、受診勧奨による地域医療との連携を進める。また、本事業終了後、この健康チェック等により治療に繋がった事例等を掌握し、課題と効果を検証する。さらに、それを踏まえた改善策等を検討し、今後、県内における事業拡大を目指す。

2 事業内容

日本の糖尿病患者は増加の一途を辿っており、1,000万人を超えているが、定期的に医療機関を受診している者は、その内の1/4にも満たないといわれている。本県も同様の増加傾向にあり、県内の患者は約44万人、その内、医療機関を受診している人は12万人と推計され、早期発見と早期における食事療法等の適切な治療の実施、継続が課題となっている。

そこで、セルフメディケーション支援として、薬局における血糖値及びHbA1cの簡易検査のモデル事業を実施して、HbA1c等が基準値よりも高い者（糖尿病予備軍も含める）に対して受診勧奨を行い、早期発見及び早期治療に繋げる。

具体的には、薬局の検体測定室において、血糖値や糖尿病が気になる者の血糖値及びHbA1cを測定し、基準値を超過した者に対して、「かかりつけ医」を受診するよう勧奨する。

また、希望者に対して、栄養士による栄養指導を行い、食事療法を支援する。

さらに、本測定により治療に繋がった事例等を掌握し、本事業の効果等を検証する。

(1) HbA1c 調査事前講習会【7月】

対象者：県薬剤師会役員（会長、副会長、常務理事、理事）

講師：筑波大学矢作准教授

内容：HbA1c測定事業の実施方法、手順、東京都足立区及び徳島県における実績を踏まえた本事業の分析評価並びに留意点、問題点等について（東京都足立区及び徳島県における実績を踏まえた内容）

(2) HbA1c 測定実施研修会【7月】

対象者：県薬剤師会支部長、地区長

講師：筑波大学矢作准教授

内容：HbA1c測定前説明、HbA1c測定方法、検体測定室の設置方法等

(3) HbA1c 測定の薬局の選定【7～8月】

地元医師会の了解の得られた地域において、モデル薬局を選定する。地区は限定しない。(10 薬局)

(4) HbA1c 測定事業研修会【8月】

対象者：本事業を実施する薬局の開設者、管理者等 (10 薬局)

講師：大学教授2名

内容：HbA1c 等の測定に係るフロー、本事業の事前準備等について

(5) 事前準備【8月】

HbA1c 等測定にあたり、「検体測定室に関するガイドライン」(平成26年4月/厚生労働省医政局)による「検体測定室開設届書」を厚生労働省に提出する。また、同ガイドラインにて、検体測定室を他の場所と明確に区別することを求めていることから、各薬局内にパーテーションを用いて、検体測定室を設置する。

(6) 測定事業の実施【9～1月】

① 対象者

薬局の患者及び医薬品等購入の来客者のうち、血糖値や糖尿病が気になる者(糖尿病治療者を除く。)に対して、チラシ等を利用して説明し、測定を希望する者に対して実施する。(1,000名)

② HbA1c 及び血糖値測定のフロー

説明・承諾書の徴収⇒測定⇒検査値・基準値等の結果表交付
⇒必要に応じ受診勧奨

(10 薬局×100名=1,000件)

- ※ 説明及び承諾書の徴収は、上記のガイドラインに従って行う。
- ※ 検体採取は、測定希望者自身が行う。
- ※ 受診勧奨見込み：約27%

(7) 栄養指導【10～1月】

事業実施薬局へ定期的に栄養士を派遣し、HbA1c 等測定の結果、基準値より高く、栄養指導を希望する者を対象に実施する。

(8) データ収集・解析及び検討会の開催【2～3月】

事業実施後、データ(HbA1c 等測定者データ、HbA1c 等測定結果データ、受診勧奨者数、受診者数、治療者数、栄養指導者数等の収集可能なすべてのデータ)を収集・分析し、大学教授等の参加を得て検討会を開催して、本事業を評価・解析する。

また、得られた成果については、理事会、支部長等を通じて、広く会員に周知するとともに県薬剤師会ホームページに掲載する。また、報告書を作成して、各都道府県薬剤師会等へ送付し、成果を周知する。

※ 検討会参加予定者：県薬剤師会役員

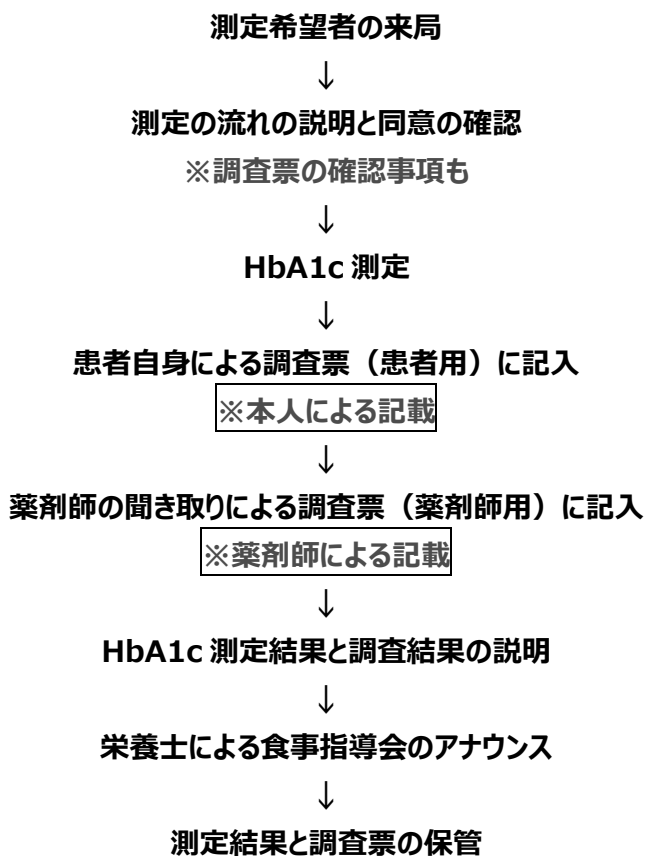
神戸大学 平井 みどり 教授

神戸薬科大学 波多江 崇 准教授 等

薬局・薬剤師を活用した健康情報拠点推進事業

兵庫県薬剤師会では、標記の事業について兵庫県の委託を受け、セルフメディケーション支援として、薬局における HbA1c の簡易検査のモデル事業を実施します。そこで、HbA1c 測定者に対し受診勧奨を行い、糖尿病の早期発見及び早期治療に繋げることをしています。

HbA1c 測定のプロトコール



事業内容

薬局の検体測定室において、血糖値や糖尿病が気になる方の HbA1c を測定し、「かかりつけ医」を受診するよう勧奨する。

また、希望者に対して、栄養士による栄養指導を行い、食事療法を支援する。

さらに、本測定により治療に繋がった事例等を掌握し、本事業の効果等を検証する。

HbA1c 測定器械はロシュ・ダイアグノスティック社製 cobas b101 とする。

HbA1c 測定機器は 7 台購入し、県内 3 支部に、2 薬局に 1 台ずつ貸出し各薬局で HbA1c の測定を行う。2~2.5 月で支部内の他薬局へ回す。

検体目標は 1 店舗 50 検体とし、検査料は無料とする

測定用チップも県薬が負担する。

参加支部

- ア 医師会と事業について話し合いができる支部が望ましい。
- イ 多くの検査ができる薬局を選定していただきたい。
- ウ 各支部で開催のイベントにて HbA1c 測定を実施できる支部

参加薬局について

- ア 処方せん調剤に限らず相談等を目的に来局する患者等が複数名いること。
- イ 投薬・販売カウンターとは別に簡易検査（ガイドラインの基準）や相談ができる検体測定室が確保できること。
- ウ 感染性廃棄物処理業者との契約をしていること。
- エ 要指導医薬品及び第一類医薬品を取り扱っていること。（望ましい）
- オ 衛生材料を取り扱っていること。（望ましい）
- カ 応急用として簡易なベッド等（毛布、枕）や飲料水などの物品を用意すること。

タイムスケジュール

- ア モデル事業を実施地区公募 7月10日まで
- イ 研修会（糖尿病の基礎及び機器操作方法等）
 - ・研修会開催 8月下旬予定
 - ・研修会会場 兵庫県薬剤師会館
 - ・参加者 参加薬局、健康フェアの担当者（約40～50名）
- ウ 事業開始
 - ・9月～1月末とする。
- エ 検体測定目標 1,000
- オ データ解析 2～3月
- カ 報告書作成 3月26日まで